

## 平成29年度福島県クリエイティブ伝統工芸創出事業

### 【Fukushima Creative Craft Academy（ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー）】

#### 参加者募集要項

#### 1 事業の目的

県内の伝統工芸・地場産業に携わる人材が、デザイン・マーケティング・ブランディング等にかかる知識を習得し、販売力強化に向けたスキルアップを図ります。

また、本アカデミーを通して県内の各産地の連携を図り、将来的には若手が参入しやすい環境づくりに繋げることを目的とします。

#### 2 事業概要

販路開拓や商品開発のベースとなる知識を体系的に身に付け、産地のものづくりをリードするために必要なブランド力を養うための講座および先進地視察を実施します。

##### (1) 募集対象

県内の伝統工芸・地場産業に携わる職人・事業者・組合員

県内の伝統工芸・地場産業の担い手を目指す者

##### (2) カリキュラム

次の2つのコース①②のいずれかを選んで受講いただきます。

なお、③はすべての受講者が対象、④は希望者のみの参加となります。

##### ①マーケティングコース【販売向け】

市場ニーズの読み方や情報発信の方法等を中心に商品の売り方を学びます。

##### ②クリエイティブコース【職人向け】

これまで多様な商品のデザインを手がけてきたデザイナーを講師とし、付加価値の高いものづくりを学びます。

##### ③交流勉強会

自ら考え、動くことができる人材を育成する勉強会。モノづくり企業の経営者等を対象とした少人数制の講座を実施し、それぞれの企業の成長に必要な企業理念や事業計画について真剣に考え、議論し、商品開発や販路開拓につなげる知識を養います。

##### ④先進地視察

工芸品・地場産品の先進地を視察し、交流を深めるとともに、ブランディングや販路拡大の成功事例への理解を深めます。

##### (3) 募集定員

60名程度（各コース30名程度）

##### (4) 開催スケジュールおよび講義内容

	日時	マーケティングコース (10:00~12:00)	クリエイティブコース (10:00~12:00)	交流勉強会 (13:00~15:00)
開講式	10月5日	基調講演 コシノジュンコ「デザインコンセプト“対極”について」 講座概要説明会		
第1回	10月31日	伝統工芸とデザイン 講師：下川 一哉	ファッション工芸 講師：鈴木 順之	自社のミッションを 明確にする

第2回	11月9日	刺さるストーリーがある商品を開発するために 講師：大重 亨	製品開発とデザイン ～成功のカギ～ 講師：廣田 尚子	自社の強みと 課題の抽出
第3回	11月29日	ブランドを知り 経営戦略を考える 講師：赤瀬 浩成	総合ブランディング デザイン 講師：鈴木 尚和	戦略目標・実行計画の 設定
第4回	12月15日	ITメディアを活用し 見込み顧客を獲得する 講師：桜井 里子	カタチの意味と デザインの役割 講師：村澤 一晃	中長期事業計画を 策定する
先進地 視察	1月頃 予定	※希望者のみ。視察先未定。		
修了式	未定	修了証の交付等		

#### (5) 開催場所

開講式・概要説明会／ホテルハマツ（郡山市虎丸町3-18）

第1・3・4回講座／南東北総合卸売センター協同組合会館（郡山市喜久田町卸1丁目1-1）

第2回講座／県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター（会津若松市一箕町大字鶴賀下柳原88-1）

先進地視察／未定

### 3 参加にかかる費用

受講料は無料です。

ただし、開催場所までの交通費および先進地視察にかかる旅費等は参加者負担となります。

### 4 応募の流れ

#### (1) 申込期間

平成29年9月4日（月）～平成29年9月22日（金）必着

#### (2) 応募方法

別紙「応募用紙」に必要事項を記入の上、上記申込期間内にE-mailまたはFAXにて提出してください。

#### (3) 参加者選考

応募者多数の場合は、書面により選考を行います。

受講者には、平成29年9月29日（金）までに決定通知をお送りします。

#### (4) 提出先

株式会社山川印刷所総合企画部（担当：菅野（かんの））

住所：〒960-2153 福島市庄野字清水尻1-10

E-mail：creative-fukushima@yamakawa-p.jp

FAX：024-593-5455

※株式会社山川印刷所は当事業の委託先となります。

（注1）内容に不備がある場合は受理されませんので、注意して記入してください。

（注2）締切を過ぎての提出は受けません。

#### (5) 提出書類について

①書類提出後、必要に応じ記載以外の追加説明資料の提出を求める事があります。

②提出書類や追加提出資料については返却しないのでご注意ください。

## <提出書類>

□応募用紙 ※応募については、申込時の情報を記載してください。

## 5 インターネットによる案内

募集要項及び応募用紙は下記ウェブサイトにも掲載されておりますのでご利用ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031c/> (福島県県産品振興戦略課HP)

## 6 留意事項

- ・受講生は、原則として、開講式・基調講演および計4回の講座すべてに参加いただきます。一部のみの参加はご遠慮ください。
- ・天候等やむを得ない事情により、講座日時を変更する場合があります。また、講師や講座内容が一部変更される場合があります。

## 7 講師略歴

### (ア) 基調講演

コシノジュンコ：大阪府岸和田生まれ。小篠3姉妹の次女。文化服装学院デザイン科在学中、新人デザイナーの登竜門とされる装苑賞を最年少で受賞。東京を拠点に活動し、1978年のパリコレクションを皮切りに北京、NY、ベトナム、ポーランドなど世界各地にてショーを開催。2006年にイタリア連帯の星カヴァリエール章受勲、2009年にモンブラン国際文化賞を受賞。オペラやブロードウェイの舞台衣装、スポーツユニフォームといった服飾デザインのみならず、インテリアデザインも手がけるなど、幅広い分野で活躍。東日本大震災発生以降、復興支援活動にも取り組む。2011年10月、同氏の母・小篠綾子をモデルとしたNHK連続テレビ小説「カーネーション」が放映。

### (イ) マーケティングコース

下川 一哉：株式会社意と匠研究所 代表取締役。2008年から2013年 まで「日経デザイン」（日経BP社）編集長。2014年にデザインを活用した経営、事業、制作、教育といった様々な問題の解決を目的に(株)意と匠研究所を設立し、代表に就任。経済産業省や特許庁等のデザイン関連委員、デザインコンペの審査員やデザイン情報テレビ番組のコメンテーターを務める。

赤瀬 浩成：メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 代表取締役。約20年間の家業経営で株式会社アカセ木工を、婚礼ダンスメーカーから総合家具メーカーに変革。2005年、『日本のモノづくりの継承と発展』のため、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)を立ち上げ、『日本のモノづくりの新しい価値の創出』を目指し、日本全国を駆け回っている。

大重 亨：株式会社アクタス 執行役員兼マーケティング部長。同志社大学法学部卒業後、(株)アクタス入社。マーケティング部門および商品開発部門の責任者を兼任後、現場では全社のブランディングとマーケティングを担当する。

桜井 里子：一般社団法人日本ふるさと手しごと協会 代表理事。明治大学政治経済学部卒業後、様々なメディアで12年間、取材編集・ディレクターとして「コンテンツ制作」に携わる。これまでの経験を生かし、伝統産業の職人・作り手向け情報サイト「伝統サポーターズ」を立ち上げ、WebとSNSを活用した情報発信を通じたWebプロモーション支援を行なっている。

(ウ) クリエイティブコース

- 鈴木 順之 : JUNKO KOSHINO 株式会社取締役事業部長。ロンドンユニバーシティーオブアーツ卒業後、6年に渡り PUMA のブランドマネジメント・クリエイティブディレクターを歴任。JUNKO KOSHINO 社ではデザイン・ブランディング・イベントなどのディレクションを行っている傍ら、2010年より明治大学商学部にてファッションビジネスの講座とプロジェクトを行なっている。
- 鈴木 尚和 : スパッジオワークス 代表 造形作家・空間デザイナー。1982年多摩美術大学卒業。1988年造形作家・デザイナー（スパッジオワークス代表）として独立。現在、作家活動を展開し、自分でもものづくりを実践しながら、地方に眠る伝統工芸や地場産品、技術を生かしたモノづくり、総合ブランディングデザインを進行中。
- 村澤 一晃 : ムラサワデザイン 代表 デザイナー。89年イタリアに留学しミラノの建築事務所に勤務後、94年にムラサワデザイン開設。これまでに19製品がグッドデザイン賞を受賞。家具を中心とした生活道具全般のデザインを手がける。現場で手を動かし、それぞれのメーカーと関係を育てていく股旅デザイナー。
- 廣田 尚子 : ヒロタデザインスタジオ 代表 デザイナー。1990年東京芸術大学卒業後、GK テックに入社。96年、ヒロタデザインスタジオ設立、オリジナルブランド「NAOCA」を発表。海外コンペでの入賞の実績をもちグッドデザイン賞に輝く。

(エ) 交流勉強会

- 赤瀬 浩成 : メイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社 代表取締役。約20年間の家業経営で株式会社アカセ木工を、婚礼ダンスメーカーから総合家具メーカーに変革。2005年、『日本のモノづくりの継承と発展』のため、メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)を立ち上げ、『日本のモノづくりの新しい価値の創出』を目指し、日本全国を駆け回っている。

8 本事業に関する問い合わせ先

福島県産品振興戦略課（担当：戸部）

電話 024-521-7296 FAX024-521-7888

E-mail : trade-promotion@pref.fukushima.lg.jp